

民間事業者による対象公共サービスの実施状況

林野庁国有林野部業務課
平成26年7月31日

1 対象公共サービスの事業名

国有林の間伐事業(平成24年度契約分)

2 対象公共サービスの内容

間伐 適切な選木、伐採率で立木を抜き切りすることにより、残存立木の成長を促し、健全な森林を造成。路網と林業機械等を合理的に組み合わせた作業システムによる効率的で低コストな間伐、造材及び搬出等の実施。
路網整備 壊れにくく耐久性があり、開設及び管理コストも低廉な路網整備の実施。
事業全体の企画立案、進行管理等 適切な事業計画の策定及び進行管理による間伐及び路網整備の円滑かつ安全な実施。

3 確保すべき対象公共サービスの質の確保の状況

	平成25年4月～平成26年3月		
	確保すべき対象公共サービスの質	実績	実績の測定時期
(北海道森林管理局胆振東部森林管理署):株式会社イワクラ苫小牧出張所			
間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案を下回るが標準以上	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:10.0m3/人・日)	提案どおり (実績:10.5m3/人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案を下回るが標準以上	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:6,536m3)	提案どおり (実績:6,473m3)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「路線計画」は、一部急勾配の箇所があったが、地形条件を考慮して計画されており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「技術の向上」は、企画提案されていた外部研修への参加はなかったが、社内での技術指導は実施されており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(東北森林管理局盛岡森林管理): 雫石地区国有林材生産協同組合

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案を下回るが標準以上	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標: 5. 5m ³ /人・日)	提案どおり (実績: 6. 8m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画: 2,949m ³)	提案どおり (実績: 3,800m ³ /人・日)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「残存木の保全」は、企画提案されていた巻立てに伴う損傷防止策がなかったが、重機の往来が激しい場所は、残存木の保全に配慮しており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(関東森林管理局福島森林管理署): ふくしま中央森林組合

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標: 4. 5m ³ /人・日)	提案どおり (実績: 5. 3m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画: 3,193m ³)	提案どおり (実績: 4,454m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

(中部森林管理局木曽森林管理署):木曽森林組合

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:3.0m ³ /人・日)	提案どおり (実績:8.8m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案どおり	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:3,774m ³)	提案どおり (実績:4,336m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

(近畿中国森林管理局兵庫森林管理署):北但西部森林組合

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案を下回るが標準以上	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案を下回るが標準以上	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案を下回るが標準以上	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案を下回るが標準以上	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標:6.0m ³ /人・日)	提案どおり (実績:7.7m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案を下回るが標準以上	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画:4,950m ³)	提案どおり (実績:5,392m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案を下回るが標準以上	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「間伐の実施方法」は、企画提案されていた写真撮影箇所が不足していたが、間伐は企画提案に沿って実施されており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「残存木の保全」は、企画提案されていた集材の際に残存木を保護する損傷防止策は最小限だったが、重機等の使用方法を配慮しており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「作業システム」は、企画提案されていた通年雇用者によるオペレーターではなかったが、高性能林業機械による低コスト施業が行われており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「路線計画」は、企画提案されていた路網密度が不足していたが、効率的な集材と地形的条件に配慮された配置とされており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「技術の向上」は、企画提案されていた外部研修への参加はなかったが、社内での技術指導は実施されており、標準仕様書等のレベルは超えている。
○「自然環境への配慮」は、企画提案されていた希少動植物の調査記録がなかったが、濁り水を出さないように配慮されており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(九州森林管理局宮崎南部森林管理署): 鉄肥造林有限会社

間伐の実施方法	伐採率を遵守し林分全体として偏りのない適切な立木密度を確保すること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
残存木の保全	残存木に対する保全措置を実施すること	提案どおり	〃
作業システム	低コストで効率的な間伐を実施するための作業システムが構築、実施されていること	提案どおり	〃
路線計画	地形条件等を踏まえ、低コストで耐久性の高い路線計画が作成され、施工に反映されていること	提案を下回るが標準以上	〃
路線開設	適切な施工上の工夫が検討され、施工に反映されていること	提案どおり	〃
労働生産性	数値目標が達成されていること (目標: 5.0m ³ /人・日)	提案を下回るが標準以上 (実績: 3.7m ³ /人・日)	年度末 (検査時に確認)
技術の向上	作業員の技術向上を目的とした技術指導等が実施されていること	提案を下回るが標準以上	〃
間伐材の利用促進	径級、曲がり等に応じた適切な造材、選別が行われていること	提案どおり	通年 (監督、検査時に確認)
工程管理	年度別数量計画に基づく進行管理が行われていること(計画: 5,026m ³)	提案を下回るが標準以上 (実績: 4,086m ³)	〃
自然環境への配慮	作業時の周辺環境の保全や開設路網の維持管理が適切に行われていること	提案どおり	〃
安全対策	作業時の安全確保の取組が適切に実施されていること	提案どおり	〃

(注記事項)

○「路線計画」は、地質・地形の影響により、企画提案されていた線形を大きく見直した箇所があったが、その他の箇所は提案書に沿って計画されており、標準仕様書等のレベルは超えている。

○「労働生産性」は、企画提案されていた目標を下回るが、従来実績(3.5m³/人・日)は上回っており、標準仕様書等のレベルは超えている。

○「技術の向上」は、企画提案されていた外部研修への参加はなかったが、社内での技術指導は実施されており、標準仕様書等のレベルは超えている。

○「工程管理」は、予定計画数量を下回ったが、予定外の路線変更に応じて適切に工程を管理しており、標準仕様書等のレベルは超えている。

(注記事項)

1. 実績欄の記述内容については以下を参照。

・「提案どおり」: 企画提案どおり又はそれ以上の実施状況となっているもの。

・「提案を下回るが標準以上」: 標準仕様書等のレベルは超えているものの、企画提案のレベルには到達していないもの。

・「標準程度」: 標準仕様書等のレベルにあるもの。

2. 当該実績は平成25年度の実施状況である。

4 対象公共サービスの実施に要した経費(税抜)

(北海道森林管理局胆振東部森林管理署):株式会社イワクラ苫小牧出張所	
支払額	59,062千円
(参考)落札額	(3カ年分) 115,280千円
(東北森林管理局盛岡森林管理署):雫石地区国有林材生産協同組合	
支払額	29,970千円
(参考)落札額	(3カ年分) 71,360千円
(関東森林管理局福島森林管理署):ふくしま中央森林組合	
支払額	36,667千円
(参考)落札額	(3カ年分) 72,000千円
(中部森林管理局木曽森林管理署):木曽森林組合	
支払額	67,612千円
(参考)落札額	(3カ年分) 133,990千円
(近畿中国森林管理局兵庫森林管理署):北但西部森林組合	
支払額	56,571千円
(参考)落札額	(3カ年分) 128,000千円
(九州森林管理局宮崎南部森林管理署):餌肥造林有限会社	
支払額	51,060千円
(参考)落札額	(3カ年分) 102,120千円

(注記事項)

支払額は、平成25年度中に支払われた金額の総額。